

# 「課題名：泌尿器科ロボット支援手術・腹腔鏡手術施行患者の背景因子・周術期アウトカムおよび術後経過を観察するレジストリ試験」について

## ○ 研究の意義・目的

泌尿器科領域において腹腔鏡手術、ロボット支援手術は標準化された術式として広く適応されています。今日では多くの施設において手術支援ロボットが導入されていますが、最近になり純国産手術支援ロボット”hinotori”が開発、導入され始めました。今後も幅広い疾患に対してロボット支援下に行われることが予想されますが、その有用性や従来の方法との比較については継続して検証していく必要があります。

## ○ 研究対象者

2012年4月1日から2026年12月31日までに、広島大学病院および共同研究機関でロボット支援手術・腹腔鏡手術が施行された20歳以上の患者さんを対象とします。

## ○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査結果（手術前評価として調べたもの）、および手術法、用いた機器、手術前の画像検査所見、周術期の経過、術後の経過です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

以下の機関と共同で研究します。各研究機関において氏名や住所など個人を特定する情報を削り、代わりに研究用の番号をつけどなたの情報か分からないようにします。このように加工された情報を、広島大学が運用する電子的データ収集システムに登録します。システムは研究者等限られた者しかアクセスできません。収集された情報をもとに広島大学で解析します。

## ○ 研究の実施体制

### 研究代表機関

広島大学病院 泌尿器科 研究責任者：教授 日向 信之

### 共同研究機関

- ・広島市立安佐市民病院 研究責任者：三田 耕司 機関の長：土手 慶五
- ・国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 研究責任者：繁田 正信 機関の長：下瀬省二
- ・JA 広島総合病院 研究責任者：加藤 昌生 機関の長：石田 和史
- ・県立広島病院 研究責任者：梶原 充 機関の長：板本 敏行
- ・三次市立三次中央病院 研究責任者：丸山 聡 機関の長：永澤 昌
- ・国立病院機構東広島医療センター 研究責任者：望月 英樹 機関の長：勇木 清
- ・JA 尾道総合病院 研究責任者：角西 雄一 機関の長：田妻 進
- ・国立病院機構福山医療センター 研究責任者：長谷川 泰久 機関の長：稲垣 優
- ・国立病院機構広島西医療センター 研究責任者：浅野 耕助 機関の長：新甲 靖
- ・中国労災病院 研究責任者：小林 加直 機関の長：栗栖 薫
- ・マツダ病院 研究責任者：甲田 俊太郎 機関の長：田村 徹

- たかの橋中央病院 研究責任者：金岡 隆平 機関の長：大庭 治
- 中電病院 研究責任者：栗村 嘉昌 機関の長：河村 寛
- JR 広島病院 研究責任者：橋本 邦宏 機関の長：河本 昌志
- 松山赤十字病院 研究責任者：矢野 明 機関の長：西崎 隆
- 中津第一病院 研究責任者：大原 慎也 機関の長：久下 亨

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学大学院 医系科学研究科 腎泌尿器科学 教授 日向信之

○ 研究期間（委員会承認後）～ 2027 年 3 月 31 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5242

広島大学病院 泌尿器科 教授 日向 信之（研究責任者）

助教 後藤 景介（担当者）